

# まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

128号

2011年1月17日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

## ○ 藤和マンション行政訴訟の？不思議

東京地裁で先月結審した常盤台駅前藤和マンションの行政訴訟は、2月16日に判決を迎える。

振り返ると、行政側の言い分に不審な点は多々あるが、それを全部は伝え切れなかったと思う。

業者はマンションの駐車場の面積から、規制緩和を受けようとした。これは共同住宅内の駐車場なので、独立した駐車場としての緩和は受けられない。しかし、共同住宅付属の駐車場としても条件が合わないので緩和を受けられない。だから前者の緩和条件を受けることになる、というのである。???

小学生でも分かりそうな屁理屈を、余り堂々と主張されると混乱してしまう。

検察庁が押収した証拠の改竄を行って信用を失墜させたが、建築審査会で私たち十数人が耳にした日本建築センターの「4mない道路でも4mとしないと滅茶苦茶になる」発言もどこへ消えたやら。枝葉末節のこととして深くは追求していないが・・・

## ○ 龍谷大学シンポジウム

1月8日(土)、遙か京都の地で、常盤台ではおなじみの龍谷大学の「みらいの環境を支える龍谷プロジェクト」の学生たちが景観シンポジウムを開いた。

去年のゲストは各地の市民運動の担い手達だったが、2回目の今年は、国土交通省事務次官をはじめ、金沢市・芦屋市・京都市の行政マンを講師に選んで、いかに景観法を実践しているかを語らせた。

常盤台についての報告も、パネル展示してあり、冒頭のプレゼンテーションでも常盤台の画像が、面映いくらい何度も流れていた。全国的な注目を肝心の住民が認識していない憾みがある。

印象的だった言葉

「日本人は美については非常に敏感だが、醜いものについては鈍感だ」(国土交通省 竹歳さん)

「良いものは残し、悪いものは直し、どうせ作るならより良いものを」(文化庁技官 鈴木さん)

## ○ 天下り

民主党にがっかり、と言う人が多いが、さりとして自民主党に戻しては元も子もないだろう。では他の党は？と見回しても適当なものが無い、不幸な国民である。

この国を経済破綻に追い込んだのは官僚組織にあるようだと言ってきたが、長年にわたって築き上げた仕組みを、おいそれとは崩されまいと、相当な抵抗があるのだろう。というより、政治家よりはるかに上手なようだ。

彼らとて寄生主が倒れては、自分たち寄生虫も共倒れになることは解っているだろうに・・・

国レベルの官僚の腐敗は天下りに如実に現れているが、地方レベルでも同じことである。しかし、板橋区では「天下り」と言わず「人材の活用」と言うそうだ。

## ○ クリスマスキャロル終わる

12月19日バプテスト教会聖歌隊のクリスマスキャロルが行われた。ロータリーコンサート実行委員会は、様々なコンサートを5・8・10・12月の年4回開催する予定。

## ○ 年の暮れにツツジ受難

12月30日にSさんからプロムナードのツツジが大変とのお知らせ。

何本も根元から折られていたり、掘り出されたりしている。S夫人の観察では、枯れているものばかりのようだとのこと。確かに元気なツツジは無事だ。被害はプロムナードの全域に及んでいた。一体誰のしわざで、何の目的があつての狼藉か。お分かりの事があつたらご連絡を。

## 玉川学園訪問記

昨年十二月に、玉川学園町を訪問しました。先日の写真展で四十年近く前の写真をお貸しくださった金井一郎さんの、あかりの個展をみながら、まち散歩もしようということで、まちづくり委のS、Y、Kさん四人で初冬の晴天の日、行ってきました。

「十二月の幻想曲」というテーマで、まるで乾草小屋のような懐かしい会場で、木の実草の実・たね・蔓などに小さなランプを仕込み、じつにファンタジックな詩情あふれるあかりたちでした。あまりの美しさ愛らしさにすっかり魅せられ動きたくないほどでしたが、町づくりの方々にご案内いただいて散歩をはじめました。

玉川学園町は昭和五年ごろ、小原国芳氏が、学園を開くため約三十万坪を取得、開発した町です。全体に丘陵地で、何本もの尾根筋にまたがる起伏に富んだ、とても美しい町です。

坂が多く、ふうふう言って歩きましたが、住んでいけば足腰が鍛えられてなんでもないのでしょう。どの尾根筋に出ても眺望が素晴らしいのでした。

広大な森のほとりは、開発されかけたが、オオタカの生息地なので運動して市に購入してもらったと聞きました。文に書けば二行のことでも、どんなにか大変な事だったでしょう。空撮写真を見ると、町田からの付近一帯、びっしりと住宅が建ち並ぶなか、オオタカの森を中心に町が豊かな緑を残していることは瞭然です。

途中、長谷工の悪名高き連結マンションも見ました。(電車の連結器のように、何棟ものマン

ションをつなげ一棟として申請し、通った)

どの地域の住民運動も業者・行政の不条理に傷つきながらも、たくましく自分たちの町を守るべく続いているのですね。お昼に案内されたうどん屋もとても美味しく、自然木と厚板の大テーブル(主人の手作り)も楽しくて、常盤台にもこんなうどんなや欲しいなと思ったのでした。

自然がたっぷり遺された玉川学園町のまねは出来ないけれど、常盤台には常盤台のよさがあり、皆それぞれの目標でがんばりながら励ましあっていけるといいなと思いました。

M・O

## 最近タヌキやハクビシンは？

去年までは結構話題になっていたタヌキもハクビシンも、最近全く目撃情報がありません。マンションでも買って引っ越したのでしようか？姿を見かけたからお知らせください。

## 自転車の暫定駐輪場で

先日の板橋区に対する申し入れの際、小学校横の暫定駐輪場のパイロン(三角のプラスチックの置物)を、とりあえず今までの赤から緑に変えてみました。どうですか、というお話でした。まあ、区の立て看などは大いに景観を損なっているから、できるだけの努力はしていただきたい。どぎつい赤よりは緑の方が目に優しいかもしれない。勿論、こういう努力もしていただきたい。でも・・・

## 常盤台公園のはなづくり

広場の遊具の傍に生えている三本の桜は、かなり傷んできています。大枝をばっさり切ってしまうからだと思っただけですが、そればかりではなさそうです。

その根は苦しいのか、だんだん地面から持ち上がってきて、子供やお年寄りが足を引っ掛けて転ぶ危険性があります。

危険というものは、ある程度は覚悟しなければならぬと思いますが、Tさんがとても気にするので、みどり公園課に相談しました。早速見に来て、持ち帰りの上善処、ということでしたが、しばらくすると三本の根元が固い土で覆われていました。これではしばらくは安心でしょう。雨で土が流されたり、子供に掘られたりしませんように。

桜に限らず根元を踏まれると木は弱ります。次に植え替える時はぐるりを囲うとか、金具で地面を保護するとか、工夫した方が良いでしょう。

公園の改修は今までに少なくとも三回はありました。次は何年後になるのでしょうか。どんな公園にするか、その時はまたワークショップを開いて、住民の希望を取り入れて欲しいと思います。

定例会二月十九日(土) 七時

「ギャラリィ服部」にて